

<箕面市立 多世代交流センター>

1. 目的・役割

地域活動の拠点として高齢者の健康づくりや生きがいがづくり、子育て中の親子のサポート、地域住民の活動支援など高齢者から子どもまで「世代を超えたふれあいの場」を創出します。

またおひさまルームひじりでは、子育て中の親子が気軽に集い、楽しく自由に過ごせる出会い・交流・学びの場を提供するとともに、子育てが孤立しないよう寄り添います。

2. 重点項目

◆目標利用者数

令和6年度目標	令和5年度実績(見込)	令和4年度実績	令和3年度実績
55,000 名	45,000 名	40,550 名	27,949 名

◆サービスの充実と質の向上

- ・入館時のカードリーダーシステムを一新し、利用者がより一層スムーズに入館できるように改善します。
- ・今後とも日祝以外の喫茶メロディーの営業を維持し、利用者がいつでも飲食できる環境を提供していきます。また週2回(水と金)のパン販売も続けていけるように努めます。

◆地域社会に対する取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止や規模縮小をせざるを得なかった地域に開かれた魅力のある取り組みを再開していきます。
- ・センターまつり、軽音グランプリ、ウィンターコンサートなどのイベントを昨年に続き全面実施するとともに、熱中症対策として時季の変更などを検討しつつ盆踊りの再開をはかります。
- ・今年度も募金支援を視野に入れて「ふれあいフリーマーケット」をよりスケールアップさせて継続していきます。

◆福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・おひさまルームの職員を対象に外部研修受講などの機会を設け、子育て支援に関わる一層のスキルアップを図ります。

◆財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・竣工以来10年以上が経過し、施設修繕の必要箇所も目立ってきており、メンテナンス費用の増加が懸念されるところで。箕面市との情報共有・連携を密にとり、予期せぬ災害や支出に備えます。
- ・無駄な光熱水費の出費がないかなど可能な限りの節約に努めつつ、貸館事業や駐車場事業での収入増を図ります。

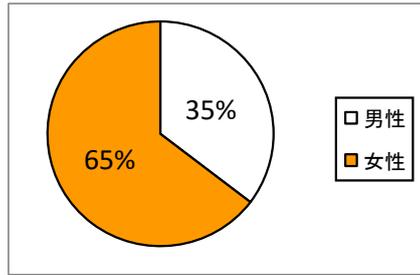
◆その他

- ・2024年3月23日の北大阪急行延伸により船場地区の開発がすすみ環境が大きく変化しています。近接に位置しているセンターにも影響は予想されます。地域に一層開かれた拠点施設としての役割を果たしていきます。

2024年度（令和6年度）の1年間に来館があった利用者（登録者）は男性361人、女性659人、合計1,020人で、女性が多い傾向は変わらない。なおこのうち2024年度（令和6年度）新規登録者は、男性が69人、女性が121人、合計191人であった。

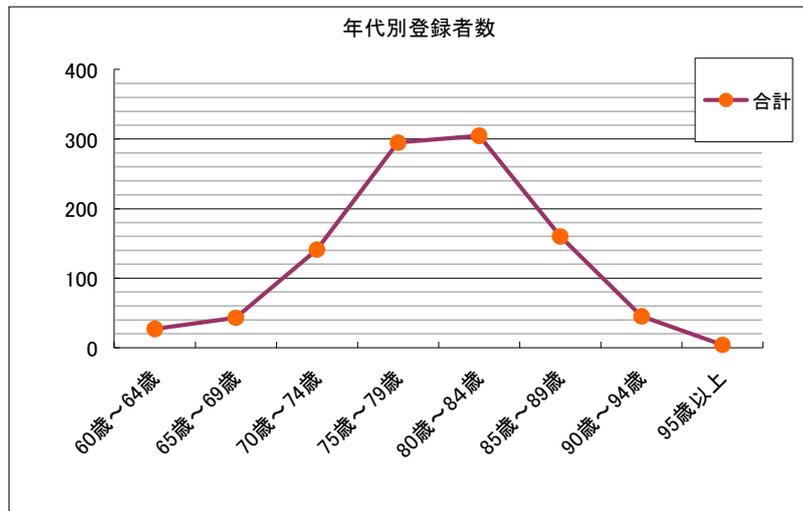
男女別利用者数（登録者数）

	人数
男性	361
女性	659
合計	1,020



年代別利用者数（登録者数）

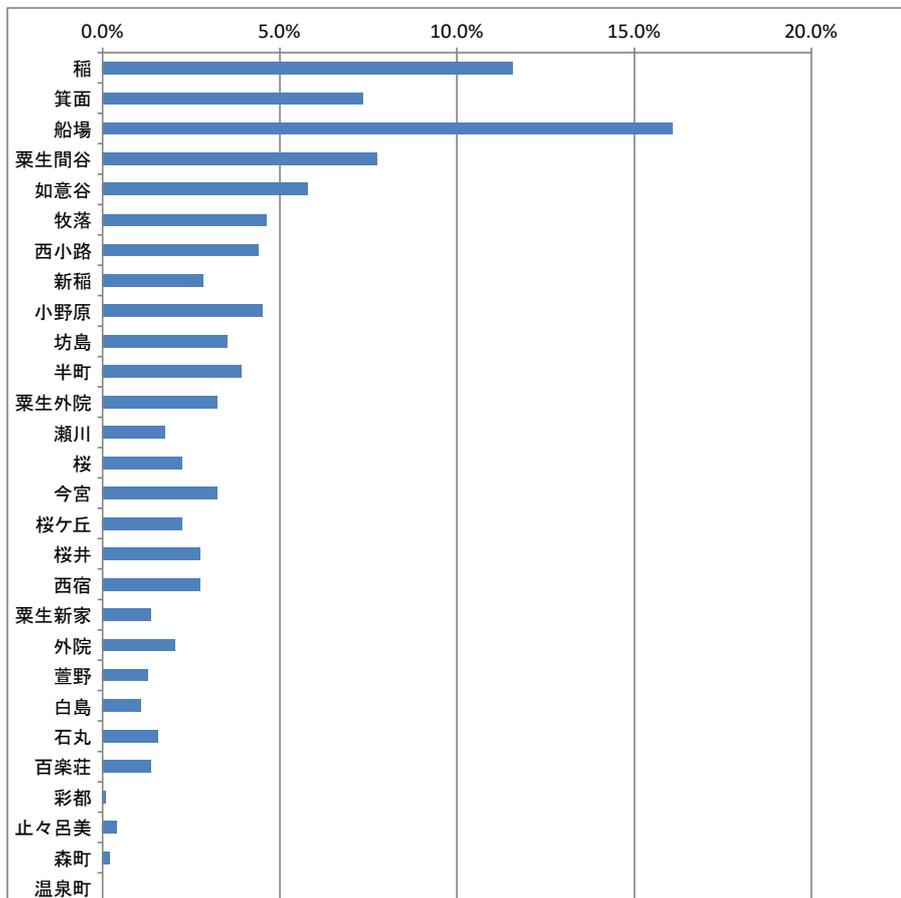
	合計
60歳～64歳	27
65歳～69歳	43
70歳～74歳	141
75歳～79歳	295
80歳～84歳	305
85歳～89歳	160
90歳～94歳	45
95歳以上	4
計	1,020



地域別にみると、全市地域からの来館が登録されているものの、稲、箕面、船場の三地域で1/3を占めており、この傾向は常に変わらない。これはセンターアクセスの利便性が要因と考えられる。

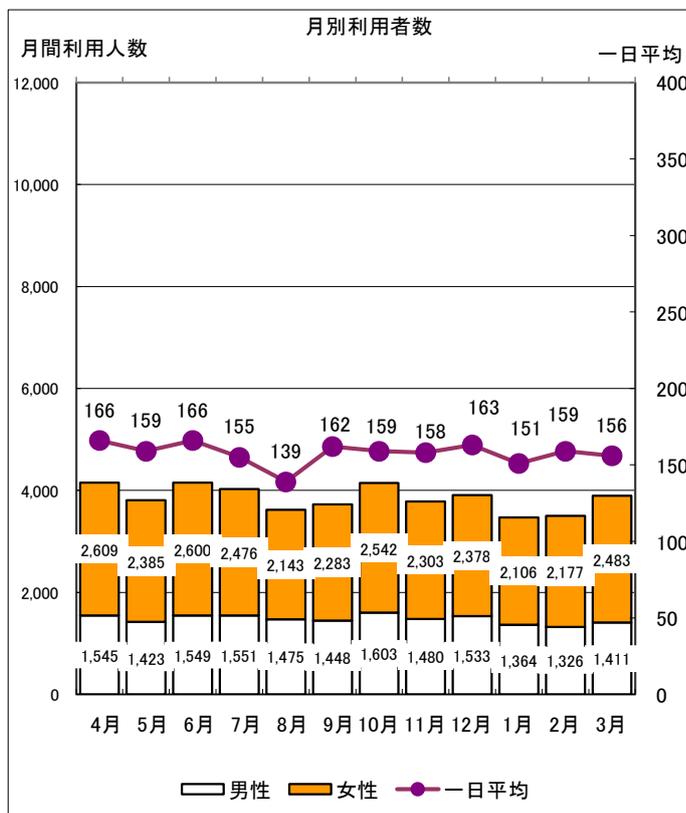
地域別利用者数（登録者数）

地域	人数	割合
稲	118	11.6%
箕面	75	7.4%
船場	164	16.1%
粟生間谷	79	7.7%
如意谷	59	5.8%
牧落	47	4.6%
西小路	45	4.4%
新稲	29	2.8%
小野原	46	4.5%
坊島	36	3.5%
半町	40	3.9%
粟生外院	33	3.2%
瀬川	18	1.8%
桜	23	2.3%
今宮	33	3.2%
桜ヶ丘	23	2.3%
桜井	28	2.7%
西宿	28	2.7%
粟生新家	14	1.4%
外院	21	2.1%
萱野	13	1.3%
白島	11	1.1%
石丸	16	1.6%
百楽荘	14	1.4%
彩都	1	0.1%
止々呂美	4	0.4%
森町	2	0.2%
温泉町	0	0.0%
計	1,020	100%



月別利用者数(2024.4.1~2025.3.31)

	開館日数	男性	女性	月間利用数	一日平均
4月	25	1,545	2,609	4,154	166
5月	24	1,423	2,385	3,808	159
6月	25	1,549	2,600	4,149	166
7月	26	1,551	2,476	4,027	155
8月	26	1,475	2,143	3,618	139
9月	23	1,448	2,283	3,731	162
10月	26	1,603	2,542	4,145	159
11月	24	1,480	2,303	3,783	158
12月	24	1,533	2,378	3,911	163
1月	23	1,364	2,106	3,470	151
2月	22	1,326	2,177	3,503	159
3月	25	1,411	2,483	3,894	156
計	293	17,708	28,485	46,193	159



区分 年度	多世代交流センター				
	利用者数	開日	館数	1日平均利用者数	同好会数
H25(2013)	72,369	293		246.9	27
H28(2014)	72,473	293		247.3	28
H27(2015)	80,652	294		274.3	27
H28(2016)	82,937	292		284.0	27
H29(2017)	87,783	293		299.6	27
H30(2018)	90,118	293		307.6	27
R1(2019)	85,755 ※	289		296.7 ※	27
R2(2020)	33,783 ※	256		132.0 ※	24
R3(2021)	27,949 ※	249		112.2 ※	24
R4(2022)	40,450	294		137.5 ※	24
R5(2023)	46,320	292		158.6 ※	24
R6(2024)	46,193	293		157.6 ※	23

- ※ R1(2019)年度は、新型コロナウイルス感染の関係で、2020年2月29日から一部施設の利用が順次休止となり、来館者が減少している。2020年2月末までの1日平均利用者数では316.2となる。
- R2(2020)年度は、前年度に引き続きコロナ禍の影響により利用者数が大幅に減少している。
(緊急事態宣言を受け、4月4日~5月21日の間、全面休館した)
- R3(2021)年度も、前年度同様にコロナ禍の影響により利用者数が減少している。
(緊急事態宣言を受け、4月26日~6月20日の間、全面休館した)
- R4(2022)年度も、前年度同様にコロナ禍の影響により利用者数が減少している。
(大阪モデルの赤色点灯により、断続的に同好会活動を自粛した期間がある)
- R5(2023)年度は、5月8日にコロナ感染症が2類から5類に移行したことで、色々な制限を段階的に緩和した。

令和6年度（2024年度）箕面市立多世代交流センター 利用者協議会同好会と開催教室一覧

	同好会名	内容	活動日	活動時間	場所
1	囲碁	囲碁	火・金	午前9時～午後5時	多目的室さくら
2	将棋	将棋	月・木 各午後	午後0時半～午後5時	多目的室さくら
3	健康麻雀	健康麻雀	水・土（月木の午前）	午前9時～午後5時	多目的室さくら
4	ゲートボール	ゲートボール	火・木・土	午前9時～午後5時	多目的広場
5	パタンク	パタンク	月・水・金	午前9時～午後5時	多目的広場
6	卓球	卓球	毎日	午前9時～午後5時	2階ロビー
7	バンパープール	バンパープール	毎日	午前9時～午後5時	2階ロビー
8	書道（A）	書道	第1、第2月曜日	午前10時～正午	多目的室さざんか
9	書道（B）	書道	第3、第4金曜日	午前10時～正午	多目的室さざんか
10	書道（C）	書道	第1、第2金曜日	午前10時～正午	多目的室さざんか
11	松美会	かな書道	第2、第4火曜日	午前10時～正午	多目的室さざんか
12	墨絵（A）	墨絵	第1、第2水曜日	午前10時～正午	多目的室さざんか
13	墨絵（B）	墨絵	第3、第4水曜日	午後1時～午後3時	多目的室さざんか
14	墨絵（C）	墨絵	第1、第2水曜日	午後1時～午後3時	多目的室さざんか
15	俳句[道]	俳句	第1、第3木曜日	午後1時～午後4時半	多目的室さざんか
16	のぞみ歌の会	歌謡曲ほか	毎週火曜日、金曜日	午前10時～午前11時半	多目的室ひまわり
17	もみじ歌の会	歌謡曲ほか	毎週月曜日	午前10時～正午	多目的室ひまわり
18	ブルーエコー	コーラス	毎週金曜日	午後1時～午後3時	多目的室ひまわり
19	歌謡同好会	カラオケ	毎週水曜日	午前9時半～正午	多目的室ひまわり
20	すずらんコーラス	コーラス	毎週木曜日 (第5木曜日を除く)	午後1時～午後4時	多目的室こすもす
21	民舞	民舞	毎週火曜日	午前9時半～正午	多目的室あじさい
22	松葉会	日本舞踊	毎週月曜日、木曜日	午前10時～正午	多目的室あじさい
23	レイアロハ	フラダンス	毎週火曜日	午後1時～午後4時	多目的室あじさい
	開催教室①	ペーパークラフト	金曜日 全5回	午後1時半～午後3時半	多目的室さざんか
	開催教室②	笑いヨガ	第1月曜と第3金曜	午後1時15分～午後2時	1階ロビー

2024 年度(令和 6 年度)多世代交流センター 主な年間行事

日 程	行 事	会 場	対 象 者			
			利 用 者	おひさま	ゆずの郷	一 般
4/22(月)~5/24(土)	競技大会	センター全体	○			
6/14(金)・15(土)	稲ふれあいセンターまつり (同好会活動休止)	ふれあいホール	○	○	○	○
6/24(月)	七夕飾り	玄関前	○	○		
9/27(金)	盆踊り大会	1階ロビー	○	○	○	○
10/1(火)~28(月)	競技大会	センター全体	○			
10/12(土)	ふれあいフリーマーケット	ウッドデッキまたは ふれあいホール	○	○	○	○
10/22(火)	地域清掃活動	センター周辺	○		○	
11/16(土)	軽音グランプリ	ふれあいホール	○	○	○	○
12/14(土)	年忘れ演芸大会	ふれあいホール	○	○	○	
2/7(金)	雛飾り	1階ロビー	○	○		
2/15(土)	ウィンターコンサート	ふれあいホール	○	○	○	○
3/25(火)	地域清掃活動	センター周辺	○		○	
毎週水曜日	体操指導	1階ロビー	○			
第1月曜日と第3金曜日	笑いヨガ	1階ロビー(2階こすもす)	○			
10/3(木) 10/10(木) 10/17(木) 10/24 (木)	転倒予防コース	1階ロビー	○			
5/10(金) 7/12(金) 9/6(金) 11/1(金) 1/10(金) 3/7(金)	元気度測定(体力測定)	2階ふれあいホール	○			
4/19(金) 6/21(金)、 8/16(金) 10/18(金)、 12/13(金) 2/21(金)	パワープレート講習会	1階健康増進室	○			
3/3(月) 3/10(月) 3/17(月) 3/24(金)	尿もれ予防コース	2階多目的室ひまわり	○			
7/11(木)1/16(木)	歌って笑ってお口の教室	1階ロビー	○			

随時開催	あひるの会ライブ 稲ふれあい歌おう会 ヴァイオリンコンサート カラオケ大会 その他音楽イベント など	1階ロビー 2階ふれあいホール	○	○	○	(○)
その他行事	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者協議会代表者会議:原則毎月第4火曜日 ふれあいホールまたはさざんか ・健康や老後の不安などに関する市民セミナー等開催(7月・11月頃予定) ・防災訓練:1月17日(金) 					

※要予約

令和6年度（2024年度）多世代交流センター総括

箕面市立多世代交流センターは、①箕面市在住の満60歳以上の方を対象にスポーツや文化的な趣味の教室開催やサークル活動の支援を行う松寿荘事業、②主に0～3歳の就園前のお子様と保護者が、出会い・交流できる場としてのおひさま事業、③一般の方にも、さまざまな集会等にご利用いただける貸館事業を3本の柱として運営している。

平成25年（2013年）4月の開館からすでに12年が経過した。この間ご利用者は着実に増加してきたが、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響もあり利用者は減少したが（事業報告書利用者推移参照）、令和4年度以降は減少にも歯止めがかかってきた。日々、ご利用者からのご意見・ご要望をいただきながら、市のご指導のもと、円満な対応を心がけてきた。ご利用者の感謝の声に励まされスタッフ一丸となってセンターの円滑な運営に努めている。

・センターもコロナ禍の影響を強く受け、皆さんが楽しみにされている多くのイベント行事が中止を余儀なくされていたが、昨年から復活した恒例の「ふれあいセンターまつり」も勢いを取り戻し、同好会活動もほぼ従来の形で再開できるようになってきた。ただ来館者が減少した分、貸館や食堂営業などへの影響は残った。

・平成27年（2015年）4月から、入館システムを変更し、磁気カードの利用を始めて丸9年が経過し、かつての事務的作業の繁雑さは解消でき、より正確なご利用者の実態把握をはじめ、各種データの蓄積、活用等にも役立っている。いち早くデジタル化の導入を決断した大きな成果であった。今後は磁気カードに変えてバーコードカードの導入をすすめるなど可能な限り進化したデジタルシステムを活用し、ご利用者の利便性を図ると共に引き続き個人情報の扱いには万全の注意を払いたい。

・定期的な利用者登録の再確認を行う必要があり、利用者協議会等の協力を得て、平成30年（2018年）4月、3年ぶりに磁気カードの更新登録を進め、これによって、さらに正確な登録者数や利用目的の掌握ができ、緊急時等の連絡にも大変役立っている。令和3年（2021年）度には、ご利用者の氏名や居住地の定期的確認のため、カード更新の手続きを進めた。

・駐車場の満車状態の改善のため、平成27年（2015年）4月に駐車料金の改定を実施し、一部改善されている。特にこの4年間はコロナ禍で、来館者が減少したため、満車状態の発生は比較的少なかったが、この先コロナ収束にともない、来館者の増加が予測される。今後ご利用者に対しては、センターに来館する際、オレンジゆずるバスを利用するなど、公共交通機関の利用を勧めていきたい。

・2階ロビーは、TVを視聴したり読書したりと普段ご利用者のくつろぎの場として利用されており、また市の脳トレーニングプリントの設置場所としても活用されているが、いっそうの賑わいが見られるように、市とも連携して今後も工夫していく必要がある。また1階の健康増進室にパワープレートが2台設置され、丸8年が経過し、その運用については、市とも十分に相談しながら取り組んでいるところで、大きな事故なく継続的に利用さ

れている方も多。なお、令和元年度（2019年度）から始まった毎週水曜日に市から派遣されるトレーナーによる運動指導は利用者に人気が高く参加者も多い状況が続いている。

- ・開館以来、毎朝行っているラジオ体操は、参加者のカードにスタンプを押印し、缶バッジを集めるとい。箕面市の企画とタイアップして8年が経つ中で、すっかりセンターの朝の風景として定着している。

- ・昨年8月から「喫茶」の営業が再開され、当初利用者の皆さんも歓迎されたが、食堂利用者は伸びず営業的には厳しい状況がある。ご利用者のためにも可能な限り食堂運営を支援したい。

- ・館内への不審者の侵入防止や駐車場周辺の安心・安全のための防犯カメラを2台設置しているが、利用者間の小競り合いなどに対しても、状況によっては警察へ通報するなど適切な対応に努める。また今後も個人情報保護の観点からも十分に慎重な取り扱いに努める。

- ・今後も必要に応じて、センターと市、そして利用者協議会の三者で連携を取りながら、

- ・これからも常に利用者の安全と安心を第一に考え、箕面市及び利用者協議会とも連携しながら感染症対策も含めて様々な問題解決にあたっていきたい。

【I. オープンスペース】

1. 実施概要

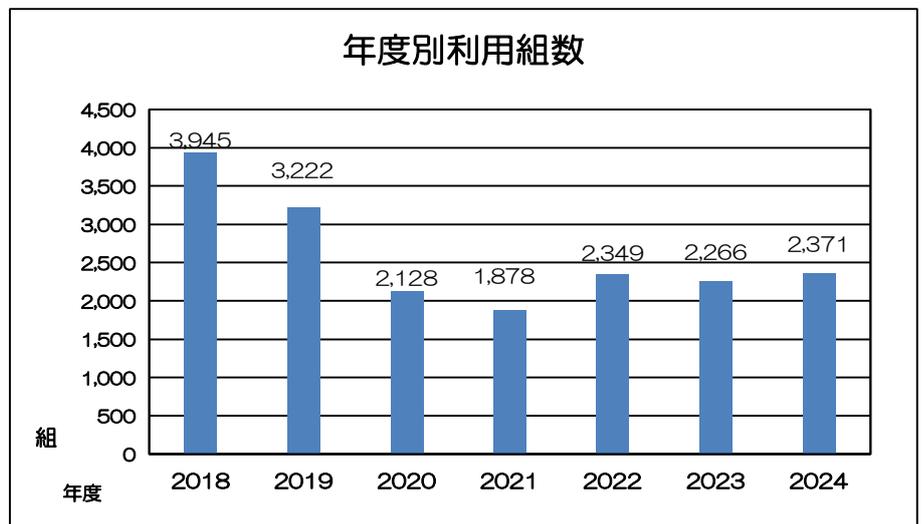
目的	核家族化・少子化・住環境の変化などにより家族関係や近隣関係が希薄になり、親同士が日常的に交流できる場や子ども同士と一緒に遊ぶことのできる場が減少している。これに伴い、育児不安や孤立した子育てが問題となる中、下記の目的の場を提供する。						
	<ul style="list-style-type: none"> 親子が安心して遊ぶことのできる場 親子が他者と出会い、交流できる場 出会った親子が交流を深め、互いに成長していける場 子育てに対する知識をスタッフや他のご利用者から得る場 子育て家庭の多様なニーズに応じた情報提供などの場 						
	オープンスペース実施	月	火	水	木	金	土
	10:00~12:00	○	※	休業日	子育てサークルデイ 臨時オープンスペース	○	○
12:00~13:00	おべんとうひろば		おべんとうひろば				
13:00~16:00	○	○		※	○	○	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 親子で自由遊び 午前、午後終了前に手遊びや親子ふれあい遊びの紹介・絵本の読み聞かせなど ※印：プログラム、年齢限定、臨時オープンスペース等を開催 						

2. 実施結果

《オープンスペース年間利用数》

年度別利用組数

	利用組数	実施日数
2013年度	3,683組	
2014年度	4,821組	
2015年度	4,671組	
2016年度	4,837組	
2017年度	4,622組	191
2018年度	3,945組	200
2019年度	3,222組	205
2020年度	2,128組	169
2021年度	1,878組	175
2022年度	2,349組	210
2023年度	2,266組	204
2024年度	2,371組	201



考察
 今年度のオープンスペースの利用組数は2,371組と前年度より105組増加となった。北大阪急行延伸に伴う船場地域への転入者増加の影響も考えられるが、月別でみると7・9月が約260組と最も多く、10・11月は30~40組の増加となった。
 7月・9月の利用者数が最も多い月はテラスでの水遊びが目的で来所されるかたが多かったが、10・11月は暑さがひと段落したことで外出しやすくなったかたたちが多かったと考えられる。1、2、4、5月は前年度より約100組減の160組前後となっている。1・2月はインフルエンザやRSウイルス等の感染症の流行もあり、外出を控えるかたが多かったことが要因と思われる。また、4・5月は保育園入園の子どもも増えたため、年度の始まりで生活リズムが整わず、外出しづらいかたが多かったのではないかと考えられる。

事業活動計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	市受託事業収益	55,040,790	55,218,413	-177,623
		市受託事業収益	45,550,000	45,671,000	-121,000
		その他の収益	9,490,790	9,547,413	-56,623
		サービス活動収益計(1)	55,040,790	55,218,413	-177,623
	費用	人件費	27,623,866	27,473,552	150,314
		職員給料	11,706,000	12,699,092	-993,092
		職員賞与	1,050,000	750,000	300,000
		賞与引当金繰入		66,667	-66,667
		非常勤職員給与	13,060,056	11,630,086	1,429,970
		法定福利費	1,807,810	2,327,707	-519,897
		事業費	8,426,813	7,906,044	520,769
		保健衛生費	88,125	192,140	-104,015
		教養娯楽費	1,111,657	970,113	141,544
		水道光熱費	6,421,333	6,203,225	218,108
		消耗器具備品費	194,566	143,746	50,820
		保険料	139,040	236,380	-97,340
		賃借料	472,092	160,440	311,652
		事務費	12,782,642	11,771,845	1,010,797
		福利厚生費	56,000	104,320	-48,320
		職員被服費	94,995	9,360	85,635
旅費交通費			2,000	-2,000	
研修研究費		27,000	49,500	-22,500	
事務消耗品費		1,021,552	350,142	671,410	
印刷製本費		147,125	59,638	87,487	
修繕費	695,469	833,285	-137,816		
通信運搬費	251,661	220,324	31,337		
会議費	8,581		8,581		
広報費	77,000	383,680	-306,680		
業務委託費	8,075,760	7,851,541	224,219		
手数料	52,360	46,035	6,325		
賃借料	807,439	397,320	410,119		
租税公課	994,100	1,095,100	-101,000		
保守料	473,000	355,300	117,700		
渉外費	600	14,300	-13,700		
減価償却費		27,908	-27,908		
減価償却費		27,908	-27,908		
		サービス活動費用計(2)	48,833,321	47,179,349	1,653,972
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	6,207,469	8,039,064	-1,831,595
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,177	18	1,159
		受取利息配当金収益	1,177	18	1,159
		その他のサービス活動外収益	36,000	153,903	-117,903
		受入研修費収益	36,000	36,000	
	利用者等外給食収益		117,903	-117,903	
	サービス活動外収益計(4)	37,177	153,921	-116,744	
	費用	その他のサービス活動外費用		117,903	-117,903
利用者等外給食費			117,903	-117,903	
サービス活動外費用計(5)			117,903	-117,903	
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	37,177	36,018	1,159
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	6,244,646	8,075,082	-1,830,436
特別	収益	特別収益計(8)			
		固定資産売却損・処分損		1	-1

事業活動計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
増減の部	費用			
	器具及び備品売却損・処分損		1	-1
	事業区分間繰入金費用	2,000,000	2,000,000	
	事業区分間繰入金費用	2,000,000	2,000,000	
	特別費用計(9)	2,000,000	2,000,001	-1
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-2,000,000	-2,000,001	1
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	4,244,646	6,075,081	-1,830,435
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	2,190,526	-3,884,555	6,075,081
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	6,435,172	2,190,526	4,244,646
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	6,435,172	2,190,526	4,244,646

資金収支計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入	市受託事業収入	54,050,000	55,040,790	-990,790
	市受託事業収入	45,550,000	45,550,000	
	その他の収入	8,500,000	9,490,790	-990,790
	受取利息配当金収入		1,177	-1,177
	受取利息配当金収入		1,177	-1,177
	その他の収入		36,000	-36,000
	受入研修費収入		36,000	-36,000
	事業活動収入計(1)	54,050,000	55,077,967	-1,027,967
事業活動による支出	人件費支出	27,850,000	27,623,866	226,134
	職員給料支出	12,500,000	11,706,000	794,000
	職員賞与支出	750,000	1,050,000	-300,000
	非常勤職員給与支出	12,600,000	13,060,056	-460,056
	退職給付支出	250,000		250,000
	法定福利費支出	1,750,000	1,807,810	-57,810
	事業費支出	8,150,000	8,426,813	-276,813
	医薬品費支出	50,000		50,000
	保健衛生費支出	150,000	88,125	61,875
	教養娯楽費支出	1,200,000	1,111,657	88,343
	日用品費支出	150,000		150,000
	水道光熱費支出	6,000,000	6,421,333	-421,333
	消耗器具備品費支出	250,000	194,566	55,434
	保険料支出	100,000	139,040	-39,040
	賃借料支出	250,000	472,092	-222,092
	事務費支出	12,350,000	12,782,642	-432,642
	福利厚生費支出	100,000	56,000	44,000
	職員被服費支出		94,995	-94,995
	研修研究費支出	100,000	27,000	73,000
	事務消耗品費支出	350,000	1,021,552	-671,552
	印刷製本費支出	100,000	147,125	-47,125
	修繕費支出	950,000	695,469	254,531
	通信運搬費支出	250,000	251,661	-1,661
	会議費支出	50,000	8,581	41,419
	広報費支出	100,000	77,000	23,000
	業務委託費支出	8,000,000	8,075,760	-75,760
	手数料支出	50,000	52,360	-2,360
	賃借料支出	1,450,000	807,439	642,561
	租税公課支出	600,000	994,100	-394,100
	保守料支出	250,000	473,000	-223,000
	渉外費支出		600	-600
	その他の支出	150,000		150,000
利用者等外給食費支出	150,000		150,000	
事業活動支出計(2)	48,500,000	48,833,321	-333,321	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	5,550,000	6,244,646	-694,646	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)			
	支出			
	固定資産取得支出	250,000		250,000
器具及び備品取得支出	250,000		250,000	
施設整備等支出計(5)	250,000		250,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-250,000		-250,000	

資金収支計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)			
	事業区分間繰入金支出	2,000,000	2,000,000	
	事業区分間繰入金支出	2,000,000	2,000,000	
	その他の活動支出計(8)	2,000,000	2,000,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-2,000,000	-2,000,000		
予備費支出(10)			—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		3,300,000	4,244,646	-944,646
前期末支払資金残高(12)		-3,800,757	2,034,600	-5,835,357
当期末支払資金残高(11)+(12)		-500,757	6,279,246	-6,780,003

